

リレー随筆

PCこだわってみませんか？

鹿児島大学病院 研修医 | 田中 滉大

この度リレーエッセイを任されました田中と申します。軽く自己紹介すると、生まれも育ちも鹿児島で、現在鹿児島大学病院の桜島プログラムの初期研修の2年目になります。大学病院等での研修を通して色々と学んできましたが、気付いたら2年目の終わりが近付いてきています。色々あってこのリレーのバトンを引き継いだのですが、私の中で初期研修中の出来事かつ数千字で文章に残せるものといえば、PC環境の構築と東洋医学の勉強ぐらいしかパッと思い付きませんでした。趣味としてPC環境作りを頑張ってきたので、今回はPCについて自分の思っていることを書いていきます。

まず私が日頃から愛用しているものを紹介します。ノートPCはMacBook Proで、自室ではWindowsのいわゆる「ゲーミングPC」と呼ばれるものを使用しています。理想的にはiMacも揃えたいとは思っていますが、色々問題が解決できていないため保留しています。自分で言うのもあれですが、MacもWindowsも両方愛用している珍しい部類に入るのではないかと考えています。両方使っているからなのか、今まで同期や友人から「Macわからない」や「ノートパソコン買おうと思っているんだけどどっちを買うのがいいの」という話をされたことがあります。端的にはlaptopに限らずPCについてはアプリケーションの対応OSだとか、普及率の観点からWindowsを選んでおけば何も問題はないと思っていますが、Macの操作は難しいことは全然ないです。スマホに代表されますが、特に説明書や解説動画等を何も見なくても多くの人が自由に使えているのと同様に、単に慣れていないだけだと思っています。

確かにブラウザ等を閉じるボタンの位置や、シャットダウンとシステム終了といった用語の微妙な違い、ショートカットによく使われるキーがcontrolなのかcommandなのかといった違いはちょいちょいありますが、おおよそ一緒です。Macにするメリットも勿論あって、たとえばiPhone/iPadとの連携が圧倒的に優れており、データの管理が簡単にできる点や、iPadに関しては拡張ディスプレイとして簡単に無線接続することができる点などが挙げられます。Macのデメリットとして、やはり初期コストが高い点が挙げられると思います。Windows搭載PCだとたまにある「安物買いの銭失い」はほぼ起きないという点では良いのですが、日常生活にそこまでの性能が必要かと言われると過剰なことが起こりえます。また私の場合、Macを好んで使っているのには幼少期から慣れ親しんでいたことが大きいです。幼少期に家にあったPCがMacであったために、当時の田中少年はMacこそが全世界共通のPCだと思い込んでいました。そのせいで小学生時代にパソコン室に初めて入った際「家がない最先端のPCが多くてスゲー！」と思ったことを覚えています。今思うと全然そんなことはなくて、笑える思い出の1つではありますが。

話が変わりますが、ここからゲーミングPCについてです。“ゲーミング”と付くだけで一体何が変わるのかという話です。ゲーミングPCの明確な定義は調べた限りなさそうでした。おおよそGPUを搭載している点で決められていることが多いように思います。かなり簡単に言うと、映像の処理を特別な専門家（GPU）に任せている感じです。より能力の高い専門家を採用することで、高

解像度(4Kなど)にしたり、1秒間あたりのフレーム数が増加して滑らかな映像にできたりします。パラパラ漫画で枚数が増えるほど滑らかに見えるのと原理は同じです。ゲーミングPCで何をするかというと、その名の通りゲームをするという認識で間違いはないと思っています。基本的にはNintendo SwitchやPlayStation 4ないし5で遊ぶことが可能なものが大半ですが、やはり性能の高さを活かしたグラフィックの綺麗さや、高解像度、高FPSで楽しむことができるのが圧倒的な強みです。昨今話題の画像や映像の生成AIを使う点でも性能の高さが活きます。勿論それ以外でも動画の鑑賞やOfficeソフト等を用いた作業、動画および画像編集など、普通のPCで行うことはおおよそ全部できます。それに加えPCの性能が高い分、処理速度が圧倒的に速いですし、複数の作業を同時並行しやすいというメリットがあります。ただやはり価格は高くなりがちです。当たり前ですが、普通のPCにはあまり搭載されていないGPUがある分高くなります。ゲーム向けGPUの現行最高峰を求めると、2025年1月に発売されたNVIDIA GeForce RTX 5090という、GPUだけで販売価格約40万~50万円というバケモノが存在します。この性能を活かせる作業をする人はそういないですが。またCPUやその他各パーツも性能が上がるほど高くなります。入手方法として、パーツを取り寄せて自作するか、完成品を購入するかの二択ですが、後者の方が楽かつ保証が効くので安心しやすいです。性能の選び方として「具体的な目的から選ぶ」や「予算内で一番いい性能のものを買う」などありますが、長くなりそうなので割愛します。1つの指標として、2025年2月28日発売のモンスターハンター新作の公式サイトで推奨されている性能でいくつかのPC販売会社(D社、F社、M社、P社)で軽く調べてみたところ、1月下旬時点でiPhone 16 Proとほぼ同じ価格帯でした。良い性能のPCを宣伝しようと筆を走らせておきながら本末転倒なの

ですが、やはり調べてみるほど、ゲームをしたいと思うなら、家庭用ゲーム機の方が圧倒的にコストパフォーマンスが良いんだなと再認識させられました。他にもノートパソコン型であったり、最近はポータブルゲーミングPCという、Nintendo Switchのような見た目のものが発売されていたりします。後者はキーボードとマウスを接続すれば普通にPCとして使用することもできます。

結局のところ、せっかくPCを買うなら性能が良いものであったり、自分の好みにあったものを買った方が何かと満足できるのではないかと考えています。PCは書類を作ったり、スライドを作成したりでしか使わない場合でも、処理が速いとストレス軽減につながりますし、撮影した写真や動画の管理・編集などを行うことも少なからずあると思います。また最近では動画配信者の配信であったり、映像を流しつつ何か作業をしたりだとか、オンライン配信サービスが充実してきたこともありドラマや映画を高画質で見たいと思う人もいると思います。モニターの大きさや数も好みで決められますし、音響設備を充実させたりと拡張性も高いです。大学入学時に買ったPCも研修医になれば7年目を迎えますし、多くの人そのうちに性能的にも寿命的にも買い替えが必要になってくる時が来ると思います。MacやWindowsといったOSを指定するつもりもないし、最新版の最上位モデルを買う必要は全くないですが、何にせよ安くはない買い物かつ年単位で使っていくものになるため、せっかくならこだわってみるのも良いのではないのでしょうか。



次号は、鹿児島大学病院／和田 大輝先生のご執筆です。
(編集委員会)